

～扇ヶ峰牧野に放牧してみませんか～

喜多方市塩川町の扇ヶ峰牧野は平成29年度に草地の除染（更新）が行われ、モニタリング検査により牧草の安全性が確認されたことから、平成30年6月に7年ぶりに放牧が再開され、令和4年度は5月20日から10月27日まで放牧が実施されました。

喜多方市牧野組合では、令和5年度より、これまで入牧要件であった「除角」のほかに除角しない牛については角カバー（裏面説明）を装着することで入牧可能とする予定です。

また、喜多方市外農家の牧野利用料金の引き下げも予定しています。

★放牧のメリット

家畜管理の省力化

・飼料調製・給与、糞尿処理の省力化を図ることができます。

飼料費の削減

・栄養価の高い牧草を採食することができ、飼料費が節減できます。

家畜の健康増進

・蹄や足腰が強くなりストレスも少ないので、牛が健康になります。

・分娩事故が少なくなります。

・吸血昆虫の活動期に放牧することで、牛伝染性リンパ腫の感染予防になります。

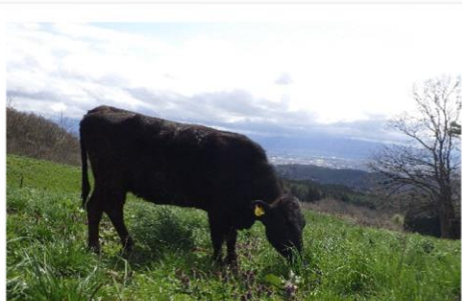
★放牧利用料金（金額は毎年設定されます）

単位：円

	牧野組合員	市内農家	市外農家
放牧料金 (1日1頭あたり)	250	300	300 (予定・現在400)

★入牧要件

- 1. 生後8ヶ月以上の肉用牛及び乳用牛であること。
- 2. 家畜保健衛生所が実施する必要な検査を受け、異常が認められないこと。
- 3. 牛の呼吸器病6種混合ワクチンを受けていること。
- 4. 家畜共済に加入していること。
- 5. 除角または角カバーの装着、削蹄、雄の場合は去勢していること。
- 6. あらかじめ入牧準備の飼育をしていること。



～お問い合わせ～

・喜多方市塩川総合支所産業建設課

TEL：0241-27-2112

FAX：0241-27-2898

・福島県会津農林事務所喜多方農業普及所

TEL：0241-24-5744

FAX：0241-24-5746

牛の角カバーとは

(1) 目的

近年、牛の多頭飼育化が進んでおり、それに伴って牛同士の角突で傷つく牛や群れの中の競合に負けて飼料の採食ができずに多くのストレスを抱える牛が出てしまう問題が起きています。

そこで、牛の角を保護し、多頭飼育の中でも角突によるストレスを軽減することを目的として開発されたのが「牛の角カバー」（以下「角カバー」）です。

(2) 装着方法及び効果

角カバーは、ゴム製で筒状となっており、牛の角にしっかりとハマてビスで固定します。作業時間は3～5分程度で、簡単に装着することができます。

角カバーを装着することで、角突による牛へのストレスが軽減され、増体率のアップ、増体のばらつき減少等の効果が期待できます。

また、角が保護されるため、牛の角による牛や人への事故防止も期待できます。



角カバー本体



角カバー装着後